

24	生活文化局	2020大会に向けた東京文化プログラムの展開
事業概要	<p>「史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現」に向けて、大会組織委員会や国及び民間団体などと連携を図りながら、アーツカウンシル東京の活用等により、東京の多彩で奥深い芸術文化の魅力を国内外に発信する「東京文化プログラム」を展開。</p>	
これまでの経過	<p>【文化プログラムについての検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都の芸術文化振興における基本指針であり、東京2020大会に向けた文化プログラムの先導的役割を持つ「東京文化ビジョン」を平成27年3月末に発表 ・第22回東京芸術文化評議会（平成29年1月19日開催）において、「2020年までの東京文化プログラム展開プラン」を報告 <p>【東京文化プログラムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして、「東京キャラバン」及び「TURN」をリオや国内各地で実施 ・東京都、（公財）東京都歴史文化財団及び（公財）東京都交響楽団が2020年に向け、平成28年秋から実施する4年間の事業を「東京文化プログラム」として展開することを平成28年9月に発表 ・平成29年11月には、2020年に向けて実施する東京文化プログラムを「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と銘打ち、集大成となる文化事業を展開することを発表 ・新たに展開する象徴的なプログラムとして、「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の中核を担う事業を創出するため、大規模な企画公募を展開。国内外から寄せられた応募総数2,436件の企画案から平成30年8月に13件の実施企画を決定。「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」と総称し、令和元年9月より順次展開。令和2年度に予定していた事業は延期し、令和3年度の事業実施に向けて調整 ・平成29～31年度は、様々なジャンルの300を超える事業により、東京の多彩で奥深い芸術文化の魅力を国内外に発信 ・新型コロナウイルス感染症による影響及び東京2020大会の延期が発表されたことを受け、2020年に向けたTokyo Tokyo FESTIVALの一部事業の中止や延期等を発表 ・令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けつつも、オンラインの活用等の様々な工夫により、「文化でつながる。未来とつながる。」というTokyo Tokyo FESTIVALのコンセプトコピーを活用しながらプロモーションを展開 ・東京2020大会に向けて推進してきた取組や都立文化施設における展覧会・公演などの既存の文化事業をはじめ、令和3年4月から9月には、延期していたTokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13を展開 ・「オール東京」での文化面の盛り上がりを醸成することを目的に、都内区市町村等が開催した文化事業・イベントを対象としてTokyo Tokyo FESTIVALとの連携を実施 ・東京2020大会に向けた気運醸成のため、SNSを含めた戦略的な広報展開を行うとともに、Tokyo Tokyo FESTIVALのコンテンツラインナップに係る情報を発信 ・「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」等、芸術団体・民間団体・民間企業等が実施する文化事業への助成により、多くの方々が文化プログラムに参加できる機会づくりを推進 	

<p>現在の進行状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Tokyo Tokyo FESTIVAL の実施状況を振り返るとともに、併せてプロモーション展開について取りまとめを実施。 		
<p>今後の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Tokyo Tokyo FESTIVAL やプロモーションの成果を踏まえ、今後における東京都の芸術文化政策に引き継いでいく。 		
<p>問い合わせ先</p>	<p>生活文化局 文化振興部 企画調整課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-7736</p>